

オマーン (Sultanate of Oman)

面積………31万km² (日本の約4分の3)
人口………約221.5万人
首都………マスカット (62万人)
政体………君主制
元首………カブース・ビン・サイード国王



新外国投資法で海外からの投資環境整う

100を超えるプロジェクトを立案

オマーン投資促進・輸出開発センター (The Omani Centre for Investment Promotion and Export Development: OCIPED) は、国内外の投資家に対し、オマーンでの投資全般に関する情報の提供並びに投資促進事業を、政府機関や民間企業と連携しながら推進しています。

OCIPEDは創立以来、アジア、ヨーロッパ、アメリカを対象として、観光、流通、製造業の分野を中心に投資促進活動を行い、これまでに



首都マスカットのムトラ港

様々な部門で100件を超えるプロジェクトを立案してきました。

UNIDO東京のデレゲートに参加

海外プロモーションの一環として、2001年2月から4月の約10週間にわたり、UNIDO東京事務所のデレゲートプログラムにOCIPEDマーケティング調査員のシェイハ・アルファルシ女史が参加しました。

本プログラムでは、企業・団体との個別面談を通じ、オマーン全般に関する広報活動を行うと同時に、特に観光部門、サラサ自由貿易区、10件の工業プロジェクトを紹介しました。

今回のプログラムの締めくくりとして、4月4日東京にて開催された「オマーン投資セミナー」には、サラサ港湾サービス会社の最高経営責任者とともに私自身も講演しましたが、100名を超える参加者にオマ-

ーンへの関心の高さを実感しました。

外資100%の投資が可能に

外国資本投資法が改正されたばかりのこの時期に、タイミングよくUNIDOのデレゲートプログラムを通じてオマーンでのビジネス環境を紹介する機会を得たことを大変嬉しく思います。

新外国投資法のもとでは、外資100%の出資が可能となし、代表事務所設置についての手続きが簡素化されるなど、外国企業がオマーンに進出しやすい環境が整いつつあります。

また、さらなるインフラの近代化を進めるとともに、オマーン各地に5カ所の工業用地を設けるなどして外国投資を歓迎しています。

マラク・アル・シャイバニ
オマーン投資促進・輸出開発センター投資促進局長
Ms. Malak Al Shaibani
Director OCIPED

Message from Sheikhha



シェイハ・アルファルシ
Ms. Sheikhha Al Farsi



ビジネスチャンスが多く、美しい国

日本は、安全ですべてがきちんとしているという印象です。これはオマーンとの類似点でもあります。ただし、空気についてはオマーンの方が東京より澄んでいると思います。

オマーンに滞在した経験のある日本企業の方々には好印象をもってくださっており、ビジネスの際にも、中東でありながら日本に居る時と同じようにリラックスできると聞き、嬉しく思います。

オマーンは経済・政治が安定しており、ビジネス機会が多数あります。また、本当に美しい国で、異文化圏からの来訪者を温かく受け入れる国民性がありますので、ぜひオマーンを訪れ、皆さんの目で確かめて欲しいと思います。その時は必ずOCIPEDも訪問してくださいね。

なお、オマーンのデレゲートプログラムについて右の囲みで簡単に紹介します。

◆ オマーン・デレゲートプログラム

2月2日(金)から4月13日(金)の間、オマーン投資促進輸出開発センター(OCIPED)より、シェイハ・アルファルシ氏を投資促進専門官として招聘しました。同氏はサルタン・カブース大学経営学部を卒業後、1999年より同センターにて投資および輸出促進業務に従事しています。滞在中は、石油化学分野を中心とした投資案件のほか、現在開発中のサラサ自由貿易区(FTZ)のプロモーションを行いました。